

**東広島市・広島大学教育ビジョン研究センター連携
「広域交流型オンライン学習」2025年6月実施計画**

1. 目的

広島大学教育ビジョン研究センターと東広島市教育委員会の連携によって多文化共生の視点から見たふるさと学習、地域学習を通して、児童の主体的、対話的で深い学びを創造する。

2. 実施内容

- 全国各地の小学校、学習対象となる地域・施設と広島大学がオンラインでつながって、遠隔授業を行う。
- 遠隔授業の全体進行は、大学の担当者(T1)が行う。各教室での指導は、各学級の担任等(T2)が行う。
- 参加校には大学より学生サポートスタッフ(T3)を派遣し、環境設営、授業運営支援、教師・児童のICTの活用支援等を行う。
- 遠隔授業では、児童が自分のタブレットから参加できる機会を設ける。

3. 授業の日時および参加予定校

- 2025年6月4日(水)10:25~12:00
- 4校(11学級252名)
 - 1ch:広島市立基町小第4学年(1学級17名)龍王小第3学年(5学級150名),原小第3~5学年(3学級74名),鹿児島市立桜峰小第5・6学年(2学級11名),
 - 2ch:黒瀬中 SSR,西条小 SSR,西条中 SSR,高美が丘中 SSR,西条 FS,豊栄 FS

4. 単元名および目標

- 単元名 「外国の言葉が上手とは? ―話し上手・聞き上手ってどんなひと?―」
- オンライン学習の授業目標

A ことばの見方・考え方

外国語を用いるときに「正確さ」だけでなく、それ以上に「適切さ」の観点をもつことで、外国語を聞いたり話したりする力につなげる

B 多様な人とのコミュニケーション

「適切さ」の観点をもって外国語を話したり聞いたりすることで、寛容性をもって多様な言語的文化的な背景をもった人とのコミュニケーションを行うことができ、異文化への接触や交流を積極的に行う視点をもつことができる。

- ・赤色: タブレットの活用場面
- ・黄色: 個別学級の活動場面
- ・緑色: 学級間の交流場面
- ・青色: 中継・動画
- ・★: AI 学習支援システムを活用した学級の声のモニタリング場面
- ・発表の基本過程: 教師と児童でやりとり→発表者を決める→カメラ前でスタンバイ→同じ答えが出たら戻らせる

○ 本時の目標

- ・1/2時: 外国語を話す人たちは誰もが自信をもって正しく話しているわけではないことを知り、「上手に話す」ことの意味を考えることができる。
- ・2/2時: 話し手の気持ちを考えながら聞くことの大切さに気付くことができる。

5. 授業展開

T1 (南浦・草原) の動き	予想される児童の反応	T2 (学級担任) の動き	ホスト, 中継先, T3 (補助者) の動き
導入【20】 1. 外国の言葉について自分を振り返る (1) あなたは何語が使える? みんなの事前アンケートから見てみよう。 →基町小学校ってどんなところ (2) 先生に聞いてみよう。 何語を話せるかな? 自信は? (3) ALT さんにも聞いてみよう ・何語を話せるかな? 自信は? ・自信のない日本語を話すときはどんな気持ちかな? (4) あなたは英語を話すのに、自信はありますか? 【のん太アンケート①】 (自信がある あまり自信がない)	・英語, 中国語, ベトナム語… ・色々な言葉があるな。 ・基町小学校はたくさんの言葉を話せる人がいるんだな ・先生は〇〇語ができるのか! ・先生たちも自信がないみたい! ・ALT の先生も自信あり/なし色々だ ・ALT の先生は、英語、日本語の他にも話せるんだね。自信あるのかな。 ・ALT の先生は、日本の子どもや日本の人と日本語で話すときは緊張するって言ってるよ。「間違い」「変だ」と思われたくないんだな。 ・英語は習っているけど自信ないよ。 ・勉強している(これからするも含む)けれど、あまり自信はないなあ。	・児童端末をネット接続させる。 ・ディスプレイの音声进行调整する。 ・先生の話せる言葉を子どもたちがインタビューし、カードに情報を書き込む。 先生は、自信はなくてもよいので、少しでも話せる外国語を挙げる。 ・ALT の中継に注目させる。 ・代表児童にマイクを渡す→T1 が指名したらミュート解除し、発表。 ・のん太アンケート①に回答できているかを確認する ・T2 はめあてを黒板に書く	・挨拶→電源・音声・カメラテストを実施 ・OP 動画の再生(開始 12 分前) ・ギャラリービュー ・事前アンケートの結果共有 ・指名された学級をスポットライト 【中継①】ALT さんにつないで、答えてもらう。(龍王小) ・音声/映像状態のチェック
【めあて】 外国の言葉が「上手」な人ってどんな人だろう?			

展開1:外国の言葉が話し上手ってどんな人?【25】 2. 話し上手な人について考える。 (1) 新幹線の英語の放送を聞いてみよう。どっちがいい?(動画1回目) 【のん太アンケート②】 録音した外国の人のすらすら声 車掌さんのたどたどしい声 (2) どうしてそっちがいいと思ったのかな?(動画2回目) (3) すらすら自動音声があるのに、わざわざ車掌さんの放送を使うようにした理由は何だろう?★A (動画を見て、練習をしている様子から考える。) (4) 放送を聞いたお客さんは、どんなところが「よかった」と言っているのだろうか?	• 最初の方は綺麗ですらすら話していたから。2番目の方はたどたどしい。 • 一生懸命伝えようとしている方がいいよ。 • 何かあったときに対応するため。 • お客さんへ直接伝えたいから。 • 直接話す方が感謝の気持ちが伝わるから。 • お客さんを考えて、自分の気持ちも伝えようとしているからかな。 • 思っているよりも評判がいいね。 • 自分たちに話している感じがするのかな? • すらすら話しているかどうか、あまり問題にしていないね。	• 話し方が上手かどうか注目させる。 • のん太アンケート②に回答できているかを確認する。 • 直感的に評価させる • 板書で2つの「違い」をまとめる。 • 各学級で理由を考える。 • 他校の発表に注目させ、自分たちの意見と比べさせる。	【動画①】YouTube の JR の車掌さんの動画の自動音声と放送部分を流す。 • 音声/映像状態のチェック 【動画①】YouTube の JR の車掌さんの動画の自動音声と放送部分を流す。 • 指名された学級をスポットライト • 音声/映像状態のチェック 【動画②】YouTube の JR の車掌さんの練習している部分を流す。 • 指名された学級をスポットライト • 音声/映像状態のチェック • AI アプリに文字起こし・分析の指示 →全体の傾向と少数意見の表示 【動画③】YouTube の JR の車掌さんの肉声放送部分を聞いたオーストラリアから来た人の反応を見る • 音声/映像状態のチェック
外国の言葉が「話し上手」な人は、たどたどしくても一生懸命に伝えようという気持ちをもつ人だ。			
-----休憩-----			

展開2:外国の言葉が聞き上手ってどんな人?【25】

3. 基町小学校の校内放送から考える

(1) 外国からきた放送委員の A 君が放送をしているよ。みんなが放送委員の話し手だったらどんな気持ちかな?★B

(2) 教室にいる放送の聞き手の子供たちは、どんな気持ちかな?★C

(3) 今から A 君の放送の様子を見てもらいます。どうだったかな?

(4) A 君はどんな気持ちで放送していたのだろう。みんなは……と言っていたね。実際に A 君に確かめよう。

(5) 基町小学校の子供たちはどんな気持ちで A 君の放送を聞いていたのだろう。みんなは……と言っていたね。実際に基町小学校の子供たちに確かめよう。

(6) どうして話し手から見ても、聞き手の側も、これが「普通」のことなのか。基町小学校の校長先生のお話を聞いてみよう。

- ・ドキドキしていると思います。日本語が得意じゃなかったら不安だから。
- ・頑張ろうと思っています。はやく日本語を覚えたいだろうから。

★東・桜の子どもたちに予想を聞く

- ・(東・桜)応援していると思うよ。
- ・(東・桜)早く日本語を覚えてほしい。
- ・意外にとっても上手だったなあ。

- ・放送委員をするのは嬉しい、普通のことなんだ!

- ・(基)普通のことなので、そこまで応援しているわけじゃないかも。
- ・(東・桜)そんなに応援をしているわけじゃないのか。普通のことなのか

- ・(東・桜)いろいろな子どもが、いろいろな話し方で放送することは当たり前のことなのか!
- ・(基)当たり前と思っていたけど、すごいことなのか!

- ・A 君の背景を想像させる(来てまもない中で、母語ではない言葉で放送することを補足説明し、委員児童の気持ちを自分事として想像させる)

- ・他校の発表に注目させ、自分たちの意見と比べさせる。
- ・他校の発表に注目させ、自分たちの意見と比べさせる。

- ・A 君の話に集中させる。自分たちの予想と同じだったかを検証させる。

- ・基町小の子供たちの話に集中させる。自分たちの予想と同じだったかを検証させる。

- ・基町小学校の校長先生のお話の要点を板書する。
- ・(基)自分たちの学校で行っている取組の意味を確認する。

- ・指名された学級をスポットライト
- ・AI アプリに文字起こし・分析の指示
→全体の傾向と少数意見の表示

- ・指名された学級をスポットライト
- ・AI アプリに文字起こし・分析の指示
→全体の傾向と少数意見の表示

【動画④】基町小学校の下校放送(外国から来て間もない児童の放送)

- ・音声/映像状態のチェック

【動画⑤】基町小学校の放送委員児童のインタビュー

- ・音声/映像状態のチェック

【中継②】基町小学校の子供たち

- ・音声/映像状態のチェック

【中継③】基町小学校の校長先生

- ・(校長先生)周りの声が自信になる。「来たばかりの子も放送をして当たり前」「色々な話し方で放送するのが当たり前」の雰囲気が出てきた。

外国の言葉が「聞き上手」な人は、話す人の気持ちを考えることができる人だ。			
終結：外国の言葉でコミュニケーションをするときに、何が大切なのかな？【20】 4. 「上手」の意味をまとめる。 (1) 「外国の言葉が「上手」な人とは〇〇な人である」に入る文を作ってみよう。★D (2) 他の学級の「上手」の意味を見てみよう。どの学級も同じかな。「いいな、素敵だな」と思う作品はどれかな。	・ 相手を思って話したり聞いたりする人である。 ・ 相手の気持ちを考えられる人である。 ・ 言いかえたりしながら話そうとする人である。 ・ すらすら話そうとする人である。	・ 話す、聞くの両面から「上手」について考えさせる。 ・ たくさん発表させる。板書をどんどんしてもよい。 ・ その中から他のクラスに紹介したい自慢の言葉を 2 つから 3 つ選ぶ。 ・ 他校の発表に注目させ、自分たちの意見と比べさせる。	・ AI アプリの起動→入力支援→結果の表示 ・ 指名された学級をスポットライト
【まとめ】 外国の言葉が「上手」な人とは、「相手を思う気持ち」をもって話したり、聞いたりできる人である。			

6. 資料・ワークシート

- ・児童によるインタビューカード(担任の先生が話せる言語)は、当日、スタッフが持参します。
- ・ワークシートは必要に応じて、各校で印刷して使用してください。

7. 児童用タブレット

「のんデジ」からアンケートに回答できるように事前にご準備ください。

8. 授業後の展開例

実際に外国語・外国語活動の時間などに、「話し上手」「聞き上手」の意味について、本時の学習を思い出させることをお勧めします。活動4で作成した文章を教室掲示するなどの工夫も考えられます。

9. AI アプリへのプロンプト

【ワーク A 収音】2(3)「すらすら自動音声があるのに、わざわざ車掌さんの放送を使うようにした理由は何だろう？(動画を見て、練習をしている様子から考える。)」

東広島市、広島市、鹿児島市にある 4 つの小学校の 3～6 年生が、「すらすらした自動音声があるのに、どうしてたどたどしい車掌さんの放送を使うのか」について話し合いました。この話し合いは、以下の 2 つの動画を見たあとに行われました。

動画①：日本人の車掌さんが英語で実際に放送している様子(肉声)→ 英語が得意ではない車掌さんが、自分の声でていねいに伝えている様子

動画②：日本人の車掌さんたちが英語放送の練習をしている様子(研修風景)→ お客様のために一生けんめい練習している様子

子どもたちは、「自動音声ではなく、車掌さんが自分の声で話すこと」について、自分の考えを出します。分析結果は、小学校 3 年生が理解できる平易な言葉で記述してください。

(追加)話し合いの中で、多数派の意見と少数派ではあるが注目すべき意見をそれぞれ2つずつ教えてください。その意見が出た学校・学級名をカッコで添えてください。分析結果は、小学校 3 年生が理解できる平易な言葉と漢字で記述してください。

【ワーク A 収音】3(1)「外国からきた放送委員の A 君が放送をしているよ。みんなが放送委員の話し手だったらどんな気持ちかな？」

東広島市、広島市、鹿児島市にある 4 つの小学校の 3～6 年生が、「外国から来たばかりの 6 年生が、放送委員として放送するときの気持ち」について話し合っています。

(追加)各教室の多数派の意見を見出しを付けて分類・要約してください。少数派ではあるが、注目すべき意見を2つ程度紹介してください。いずれについても具体的な意見を引用し、それを述べた学校・学級名を括弧で添えてください。すべて小学校 3 年生が理解できる平易な言葉で記述してください。

【ワーク A 収音】3(2)「教室にいる放送の聞き手の子供たちは、どんな気持ちかな？」

東広島市、広島市、鹿児島市にある 4 つの小学校の 3～6 年生が、「外国から来たばかりの 6 年生の放送を聞くときの、教室の子どもたちの気持ち」について話し合っています。

(追加)各教室の多数派の意見を見出しを付けて分類・要約してください。少数派ではあるが、注目すべき意見を2つ程度紹介してください。いずれについても具体的な意見を引用し、それを述べた学校・学級名を括弧で添えてください。すべて小学校 3 年生が理解できる平易な言葉で記述してください。

【ワーク D 意見入力】4(1)「外国の言葉が『上手』な人とは○○○な人である」に入る文を作ってみよう。

東広島市、広島市、鹿児島市にある 4 つの小学校の 3～6 年生が、「外国の言葉が『上手』な人とは○○○な人である」という文を、話す人の立場と聞く人の立場の両方から考えました。

(追加)全体の傾向について見出しを付けて分類・要約してください。その意見が出た学校・学級名をカッコで添えてください。分析結果は、小学校 3 年生が理解できる平易な言葉と漢字で記述してください。

(追加)少数派ではあるが印象的で考えさせられる意見を 1 つか 2 つ紹介してください。その意見が出た学校・学級名をカッコで添えてください。分析結果は、小学校 3 年生が理解できる平易な言葉と漢字で記述してください。